

安保破棄ニュース

No. 536
2021. 12. 10

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一二
TEL 〇六一六七六三三三三
FAX 〇六一六七六三三三三
Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.ampo-osk.jp

辺野古新基地建設を 阻止しよう！

2021 沖縄連帯集会 in 大阪



本来10・21のとりくみとして企画していた集会在、今年は総選挙が行われたため延期となり、重ねてコロナの感染拡大を防ぐために11月27日(土)の午後、天満のグリーン会馆ホールと沖縄・名護市をオンラインで結んでの「2021沖縄連帯集会 in 大阪」開催となりました。11月23日には沖縄県統一連が来年1月16日告示、23日投票で行われる名護市長選挙に向けて、地元での「事務所開き」を行い、「オール沖縄」の候補としてたかう岸本洋平さん勝利に向けた本格的な活動が始まった中、さらには、直前の25日に沖縄県の玉城知事が、昨年4月に沖縄防衛局から提出されていた、辺野古の米軍新基地建設を巡る地盤改良工事などの設計変更申請について「不承認」の決定を下すということが重なる、とてもタイムリーな集会成为りました。

沖縄県統一連事務局長の瀬長和男さんには、開所した選挙事務所から「名護市長選挙で辺野古新基地建設NOの民意を再び示そう」というテーマでお話をいただきましたが、冒頭「今回の名護市長選挙は、辺野古を巡る情勢でいえば、かなり厳しい中での選挙となる」という言葉から始まり、続けて、「デニー知事が不承認とした中で行われる最初の沖縄県民の『意思表示』となる」「この情勢の下で勝つ、あるいは負けるという事は、辺野古を巡る闘い、沖縄の基地をなくす闘いに大きな影響を及ぼす」という沖縄の人々の率直な思いが語られました。

瀬長さんは、今日の辺野古新基地建設につながる事になった、1995年の米兵による少女暴行事件から歴史を振り返り、今回「オール沖縄」の候補として市長選挙を戦う洋平氏のお父さん建男氏が当時市長として知恵を絞り、厳しい7項目の条件を付けることによって実質上基地建設を食い止めていたという事実と共に、1997年の名護市民投票を成功させた人々を中心にへり基地反対協が結成されたこと、そして2010年、「辺野古の海にも陸にも、新しい基地は造らせない」という公

約を掲げて稲嶺進市長が誕生したこと。

そして、この2010年の名護市長選挙において、「新基地建設反対」で保守・革新が立場を超えて闘ったことが、「オール沖縄」の源流だと語られました。

またその後、オスプレイの配備反対の県民大会が当時那覇市長の翁長さんを中心に行われ、翌年、県内41市町村全ての首長・議長が署名した「建白書」が当時の安倍首相に手交されたこと。

ところが、安倍政権の反転攻勢により、県内の自民党国会議員に「県内移設」を容認させ、続けて、自らも「普天間基地の県外移設」を主張していた仲井眞知事を、沖縄振興予算を見返りに抱き込んで容認させ、埋め立て承認を許可させます。

しかしこの時、仲井眞知事が語った「いい正月を迎えられる」という一言が沖縄県民の怒りを買って、保守の立場の人々も「沖縄を金で売るか！」と憤ります。この時、「沖縄のアイデンティティー」を大切にしたい、保守でも革新でも、沖縄の未来のために一つにまとまるといことが確認され、そのエネルギーが稲嶺市長の再選を実現し、翁長さんを候補としてたか勝利した2014年の知事選挙につながります。

この2010年・14年の名護市長選挙が「オール沖縄」の源流です。ところが、今回の名護市長選挙は、瀬長さんが冒頭で話されたとおり、岸田政権が4年前と同様、官邸、自民党、公明党ぐるみで臨み、金と権力をフル動員して新基地建設容認の現市政の継続を図ろうとしており、決して順風の中で戦える選挙ではありません。

しかしだからこそ、今回の名護市長選挙の勝利は、辺野古新基地建設阻止への県内外の世論を高め、参議院選挙、そして来年秋の沖縄県知事選挙勝利につながります。

折しも来年は沖縄返還50年の年、「復帰っ子」岸本洋平さんを市長へと押し上げ、「市民のくらし・あなたの笑顔・子どもの未来」をかならず守る！市政を実現し、地方自治と民主主義を取り戻すため、安保破棄大阪実行委員会は「オール沖縄」の皆さまと共に闘います。

名護市長選挙支援カンパ のお願い

辺野古新基地建設阻止のため、名護市長選挙勝利に向けて、安保破棄大阪実行委員会としても、様々な形での支援行動に力を入れて取り組めます。

そのためのカンパにご協力お願いします。

《カンパ振込口座》

○銀行振込…三井住友銀行玉造支店(普)口座番号…6593255

名義「安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会」

○郵便振替…口座番号 009804-22167

安保破棄大阪実行委員会

※「名護市長選挙カンパ」と、通信欄などに記載してください。

近畿安保合同連続学習会第5弾

「名護市長選挙をたたかろうにあたって」

近畿2府4県の安保破棄実行委員会共催で開催している、連続学習会の第5弾を12月4日(土)にオンラインで開催しました。「名護市長選挙をたたかうにあたって」をテーマに、新基地建設反対名護共同センター事務局長の早坂義郎さんから話をいただきました。

早坂さんは、沖縄の米軍基地の成り立ち、基地返還闘争の歴史などから話されました。そして、そもそも辺野古への米軍基地建設がどのような経過で出てきたものなのか、その変遷と反対運動の流れを話されたうえで、これからの展望として、沖縄にとって選挙の年となる来年のたたかいについて、特に名護市長選挙の現状と意義、展望について話されました。それと合わせて、総選挙後も全国から多くの支援者が来ている、キャンプ・シュワブゲート前での闘いの様子などについても話されました。

参加者からは、辺野古の闘いの原点ともいえる「嘉陽のオジー」の言葉(1997年1月)を誰もがわかるようにしてほしいという声や、来年の名護市長選挙支援への意気込みなどが出されました。



諸団体の取り組み、当面の予定など

- 12月
18日(土) 大阪憲法会議「憲法大学習会」 14:00～
此花区民一休ホール オンラインと併用
23日(木) 大阪安保23定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
近畿安保合同会議 14:30～ オンライン
29日(水)～1月3日(月)大阪安保事務所年末年始休業

2022年1月

- 5日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪民医連会議室
21日(金) 大阪安保23定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
23日(日) 沖縄・名護市長選挙投票日(16日告示)

日米共同方面隊指揮所演習 (ヤマサクラ81) 反対



陸上自衛隊中部方面隊総監部にて



近畿中部防衛局にて

12月1日から13日間の日程で、伊丹にある自衛隊基地・中部方面隊総監部を中心として全国規模の日米共同方面隊指揮所演習が行われています。

これは、全国の自衛隊と世界の米軍基地をオンラインで結び、シミュレーションする演習です。アメリカの戦争に日本を巻き込む大変危険な内容となっています。

近畿の安保破棄実行委員会など7団体の連名で、「日米共同方面隊指揮所演習(ヤマサクラ81)の中止を求める」申入れを、近畿中部防衛局と陸上自衛隊中部方面隊総監部に対して、11月25日に行いました。

しかし、どちらも申し入れ書を受け取るのみの対応で、中部方面隊総監部では、門前で「発表されていること以外は申し上げられません。申入れ事項については上級にお伝えします」の一点張りです。質回答なしの対応でした。

近畿中部防衛局でも、すでに担当者が現地に赴いているというところで、申し入れ書を読み上げて手交するに止まり、後日文書回答することを要求するのみとなりました。

この間、日米共同演習に関して、米軍が動き始めたり、演習所の準備が始められたりしていても、公式に防衛省が発表せず、市民への説明責任をないがしろにする状況が続いています。これについても強く抗議し、改善を求めました。

